クミアイ化学工業株式会社
会社説明会

2015年10月8日

クミアイ化学工業株式会社

本日のアジェンダ

自然に学び 自然を守る
クミカ

Ⅰ. 会社概要
Ⅱ. 業界でのポジショニング
Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
　　期末見込
Ⅳ. 中期的見通し
Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 業界でのポジショニング

Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
　　期末見込

Ⅳ. 中期的見通し

Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略

クミアイ化学工業株式会社

会社情報

基本情報

会社名	**クミアイ化学工業株式会社**
事業内容	農薬の製造・販売、不動産賃貸、その他（発電および売電）
証券コード	4996
上場市場	東証1部
本社所在地	東京都台東区池之端
設立	1949(昭和24)年6月
資本金	45億円

連結経営指標等（2014/10期）

売上高（億円）	554
経常利益（億円）	43
当期純利益（億円）	31
純資産額（億円）	497
自己資本利益率（%）	6.58
従業員数（名）	634

沿革

1928(昭和3)年、現在の静岡県静岡市清水区に農薬製造業として柑橘同業組合を開設したのを事業の始めとして、1949(昭和24)年、株式会社組織に変更、**庵原農薬株式会社**を設立。

1958	日本印刷工業株式会社の株式取得（現・連結子会社）
1962	イハラ農薬株式会社に商号を変更
	イハラ自動車株式会社（現・株式会社クミカ物流）を設立（現・連結子会社）
1968	**クミアイ化学工業株式会社**に商号を変更
1972	尾道クミカ工業株式会社を設立（現・連結子会社）
1974	ブラジルにIharabens Industria E Comercio Ltdaを設立（現 K-I Chemical do Brasil Ltda・連結子会社）
1975	株式会社クミカ計算センター（現・ケイアイ情報システム株式会社）を設立（現・連結子会社）
1977	東京証券取引所第1部銘柄に指定
1978	米国にAgro Chemical International Inc.（現 K-I Chemical U.S.A. Inc.）を設立（現・連結子会社）
1991	株式会社エコプロ・リサーチを設立（現・連結子会社）
2007	ベルギー王国にK-I Chemical Europe S.A./N.V.を設立（現・連結子会社）
2012	米国にKumika International Inc.（100%子会社）を設立
2013	韓国にKumika Korea., Ltd.（100%子会社）を設立

企業理念

創造する科学を通じて「いのちと自然」を守り育てること。

私たちの、変わらぬテーマです。

新農薬時代の幕開けとともに歩みはじめたクミアイ化学。

私たちの足跡は、そのまま我が国の農薬発展の歴史でもあります。 国産農薬第一号「アソジン」や除草剤「サターン」の開発など、画期的な技術開発を重ね、豊かで健全な農作物の生産に貢献してきました。

その原動力は、「いのちと自然」を世代を超えて守り育てていこうという、創業以来の願いです。

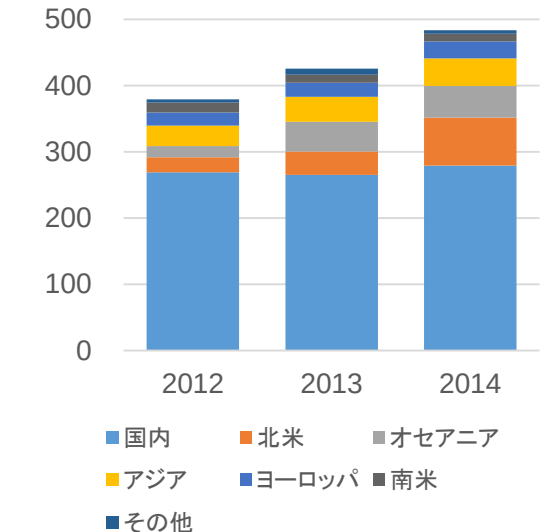
経営理念

1. 常に市場に密着し、顧客のニーズと信頼にこたえる。
2. 常に世界に目を向け、世界市場でリーダーシップをとるグローバル企業を目指す。
3. 常に新しい目標にチャレンジし、行動する活力溢れる人間集団を形成する。

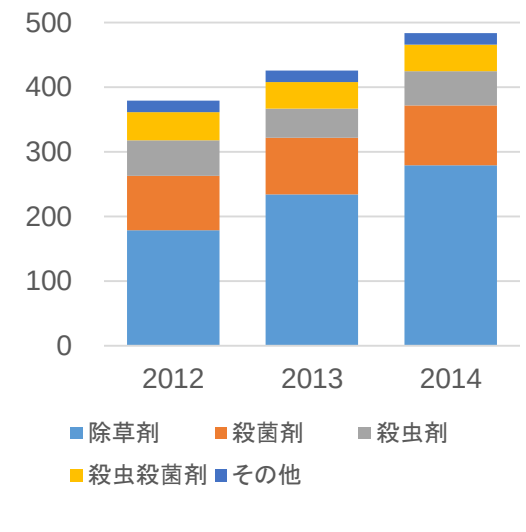
主力製品・売上概況（個別）

原体（主要製品名）	2014年度 売上高（億円）	用途	登録国	主な特長
ピロキサスルホン (SAKURA, Zidua, Fierce, Anthem, ソリスト)	116	畑作除草剤	日本、米、豪、加他	幅広い畑作物に適用 既存薬剤より低薬量 抵抗性雑草にも効果を発揮
ビスピリバックナトリウム塩 (ノミニー)	42	水稲除草剤	日本、世界 55ヶ国	幅広い水稲雑草に適用 直播栽培に適用
ピリミスルファン (ヤイバ, ナギナタ)	34	水稲除草剤	日本、韓国	SU抵抗性雑草を含む幅広い 水稲雑草に適用
ピリベンカルブ (ファンタジスタ, ファンベル)	9	園芸殺菌剤	日本、韓国	幅広い病害に適用 QoI剤耐性菌にも効果を発揮

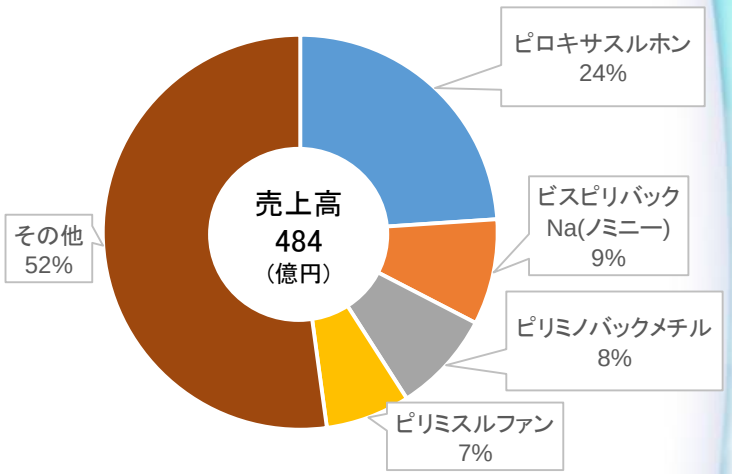
農薬事業: 地域別売上高



農薬事業: 用途別売上高



原体別売上高比率（2014年10月期末）



主な事業領域と関連会社の役割

新農薬創製共同事業

イハラケミカル工業
（農薬原体製造）

ケイ・アイ研究所
（新規化合物合成・探索）

当社

自然に学び 自然を守る
クミカ

- **尾道クミカ**（農薬等の製造・販売）
- **エコプロ・リサーチ**（環境分析）
- **日本印刷工業**（印刷物の製造・販売）
- **クミカ物流**（運送・倉庫）
- **ケイアイ情報システム**（情報サービス）

- **ケイ・アイ化成**（農薬等化学工業製品の製造・販売）
- **イハラ建成工業**（総合建設業、化成品の製造・販売）

連結子会社　持分法適用会社

理研グリーン
（農薬、産業用薬剤等の製造・販売）

【農薬等の輸出入】
ケイ・アイ　ケミカルUSA
ケイ・アイ　ケミカル
ヨーロッパ（ベルギー）

【農薬等の製造販売】
TJCケミカル（タイ）
イハラブラス（ブラジル）

得意先

国内
全国農業協同組合連合会等

海外

研究開発の取り組み（新農薬創製事業）

自然に学び 自然を守る
クミカ

グループの力を結集して研究開発を進めています

	ケイ・アイ研究所	クミアイ化学生物科学研究所	クミアイ化学製剤技術研究所	イハラケミカル研究所
合成	新規化合物の構造探索と合成研究			
生物評価		スクリーニング有望化合物の実用化研究、作用性研究		
製剤	新規化合物の物性、製剤研究		有望化合物の製剤研究	
安全性評価		毒性、代謝、残留研究		
プロセス開発				有望化合物の合成ﾌﾟﾛｾｽ研究

農薬の研究開発・商品化の流れ

自社開発剤の推移

1950's~80's	1990's~2000's	2010~

1981年~ ケイ・アイ研究所

除草剤

- 69 ベンチオカーブ
- 75 オルベンカルブ
- 95 ピリチオバックNa
- 96 ピリミノバックメチル
- 97 ビスピリバックNa
- 02 フルチアセットメチル
- 10 ピリミスルファン
- 11 ピロキサスルホン
- 14 フェノキサスルホン
- フェンキノトリオン (登録申請中)

殺菌剤

- 59 MAF
- 64 IBP
- 81 メプロニル
- 95 メパニピリム
- 12 ピリベンカルブ
- 07 ベンチアバリカルブ イソプロピル

殺虫剤

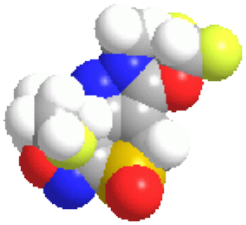
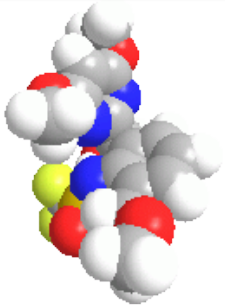
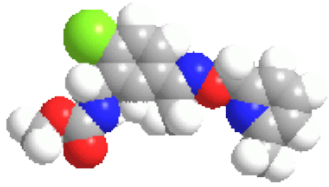
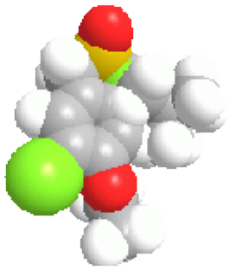
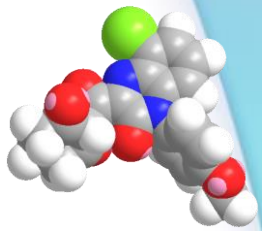
- 86 フェノチオカルブ

植物調整剤

- 94 プロヘキサジオンCa

新規剤パイプライン

グループの役割分担により効率的かつ継続的な原体開発を進めています

2010	2011	2012	2014	2018~
水稲除草剤 **ピリミスルファン** **KIH-5996**	**畑作除草剤** **ピロキサスルホン** **KIH-485**	**園芸殺菌剤** **ピリベンカルブ** **KIF-7767**	**水稲・芝用除草剤** **フェノキサスルホン** **KIH-1419**	**水稲除草剤** **フェンキノトリオン** **KIH-3653**
ヤイバ ナギナタ アトトリ	SAKURA（豪、南ア） Zidua、FIERCE Anthem（米、加） ソリスト(日本)	ファンタジスタ ファンベル オルパ	クミスター ガンガン ベンケイ ヤブサメ スパーダ(芝)	ジータ (登録申請中)

クミカの強み

- 継続的な原体開発力
- 独自性の高い製品（オンリーワン技術品目）
  - 独自省力化製剤 豆つぶ剤
    http://www.kumiai-chem.co.jp/mametsubu/index.html
  - ドリフト低減製剤 微粒剤F
    http://www.kumiai-chem.co.jp/fgr/index.html
  - 微生物農薬 エコ・クリーンシリーズ
    http://www.eco-series.com/index.html

豆つぶ剤

微粒剤F

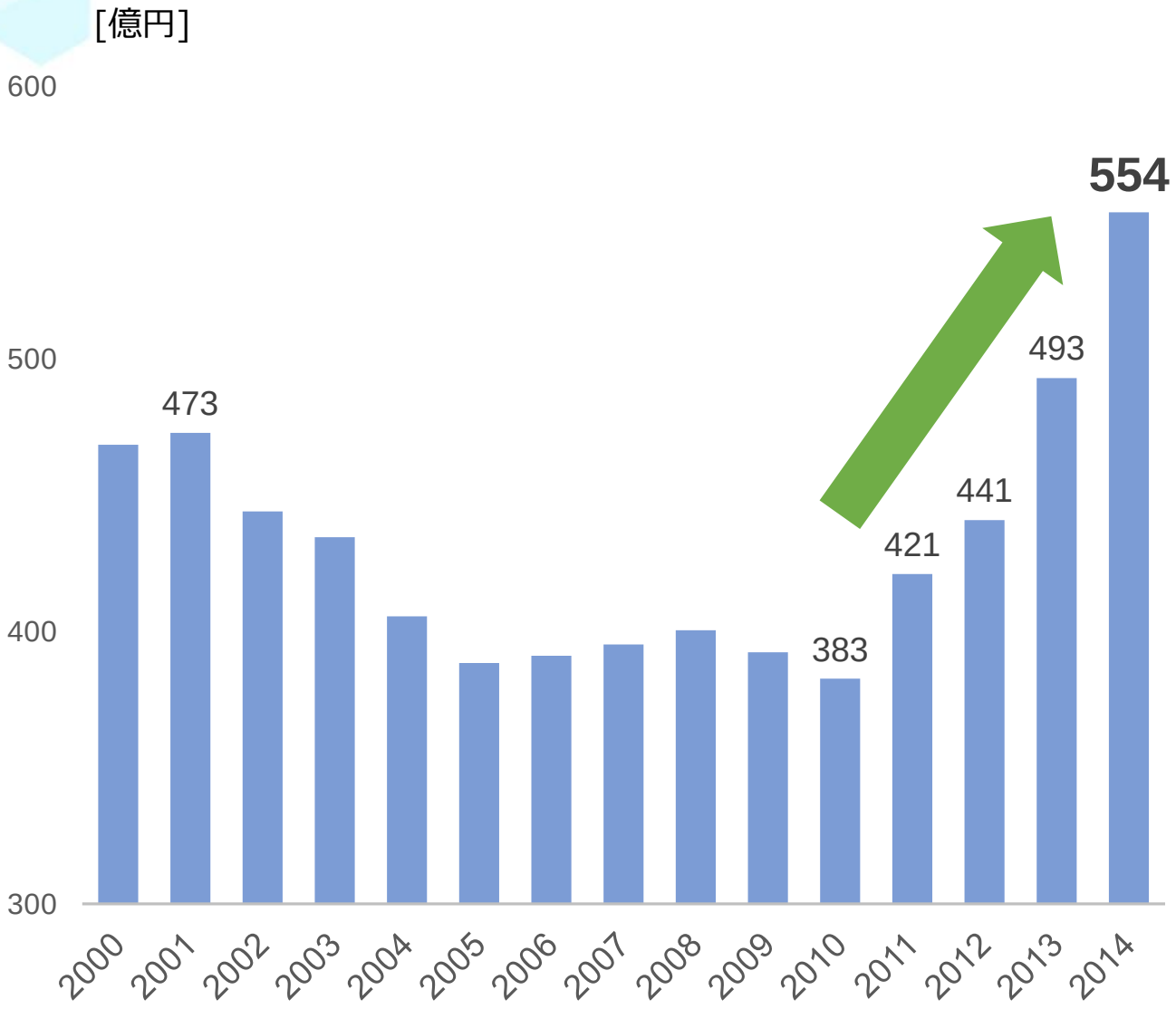
エコシリーズ

クリーンシリーズ

連結業績推移（2010～2014年）

	2010/10	2011/10	2012/10	2013/10	2014/10
売上高（億円）	383	421	441	493	554
経常利益（億円）	17	21	28	34	43
当期純利益（億円）	13	14	21	24	31
純資産額（億円）	395	408	433	486	497
総資産額（億円）	517	531	586	679	703
1株あたり純資産額（円）	467	482	514	573	587
1株あたり当期純利益（円）	16	17	27	30	38
自己資本比率（%）	72.70	72.97	69.69	67.44	66.71
自己資本利益率（%）	3.44	3.51	5.37	5.51	6.58
株価収益率（倍）	16.27	16.58	13.42	24.36	17.84

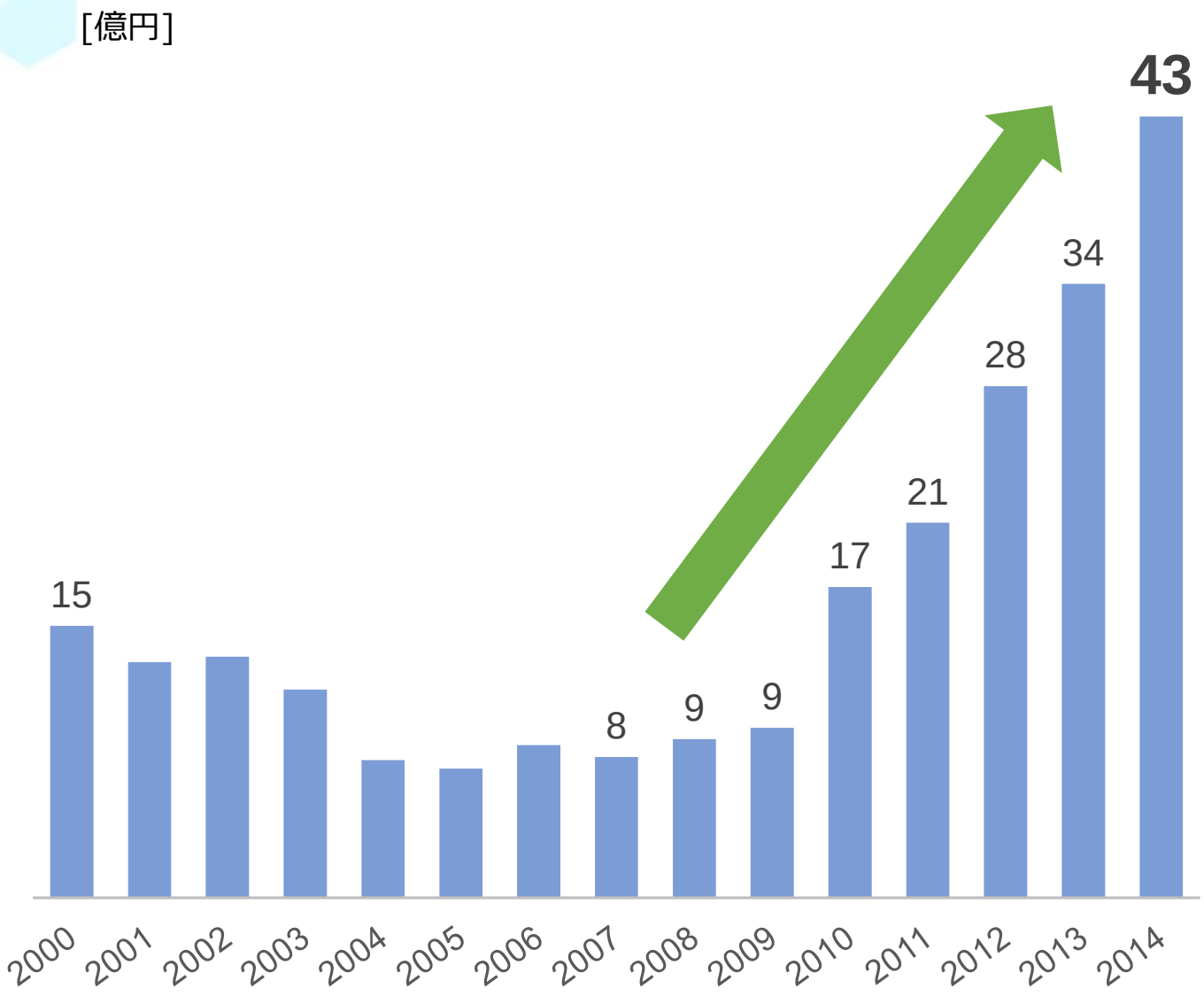
売上高推移(連結)



前期比
61億円増
(+12.3%)

4期連続売上増

経常利益推移（連結）



前期比

9億円増

（+27.3%）

7期連続増益

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 業界でのポジショニング

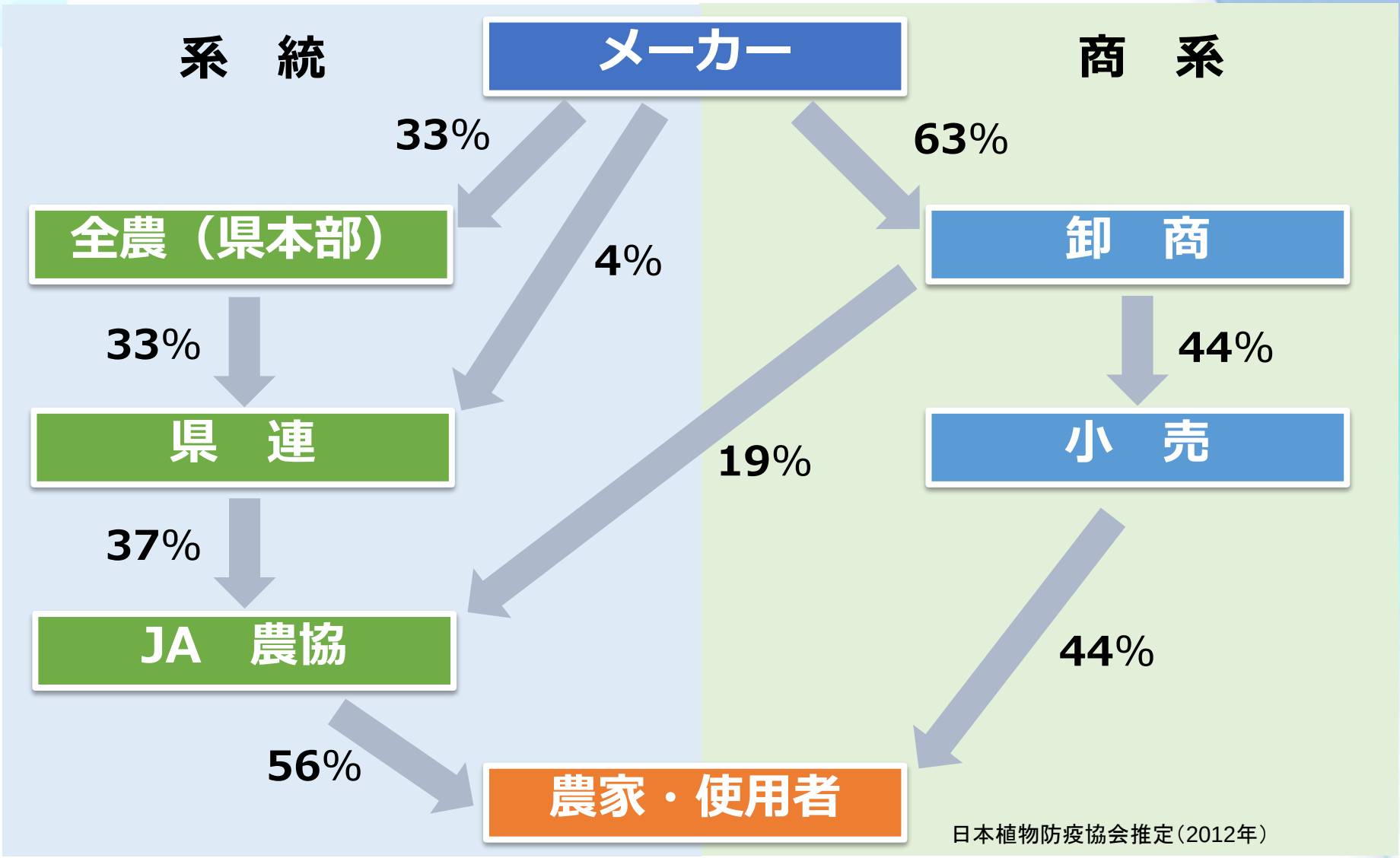
Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
期末見込

Ⅳ. 中期的見通し

Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略

クミアイ化学工業株式会社

国内の農薬の流通経路

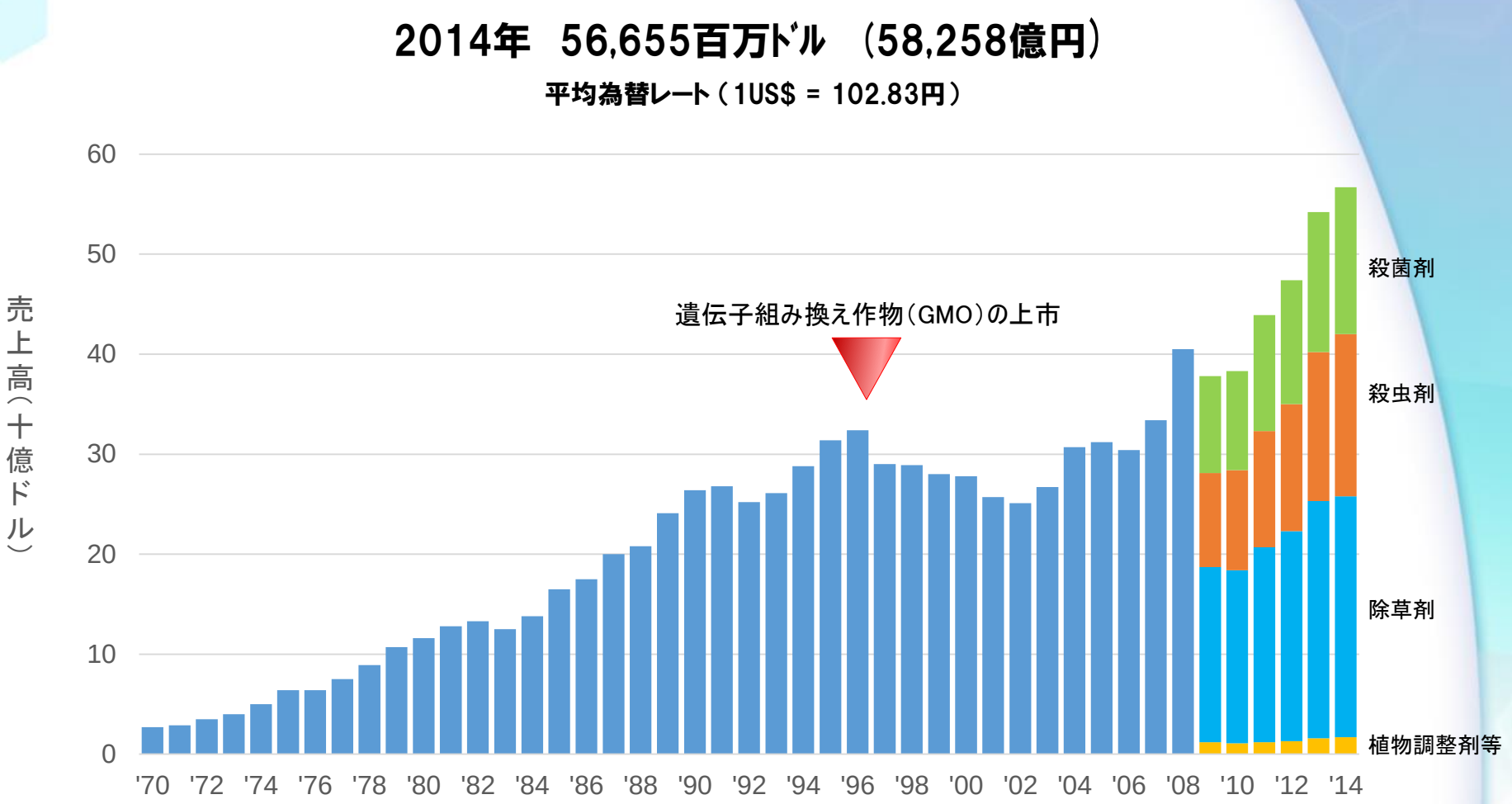


日本植物防疫協会推定（2012年）

クミカ国内売上の現状（2014年）

- **水稲一発処理除草剤が主力**
  - ピリミスルファン剤を中心に337千haの出荷
- **水稲用箱処理剤・本田剤伸張**
  - イソチアニル剤（2012～）、コラトップ剤（2013～）が売上増に貢献
- **園芸分野売上増**
  - スプラサイド剤、ファンタジスタ剤（ともに2012～）が順調に推移

世界の農薬市場の動向



種子・バイテク製品を除く

出典：Phillips McDougall

クミアイ化学の海外拠点

子会社

クミカインターナショナル
クミカコリア
K-IケミカルUSA（アメリカ）
K-Iケミカルヨーロッパ（ベルギー）
K-Iケミカル・ド・ブラジル（ブラジル）

持分法適用関連会社

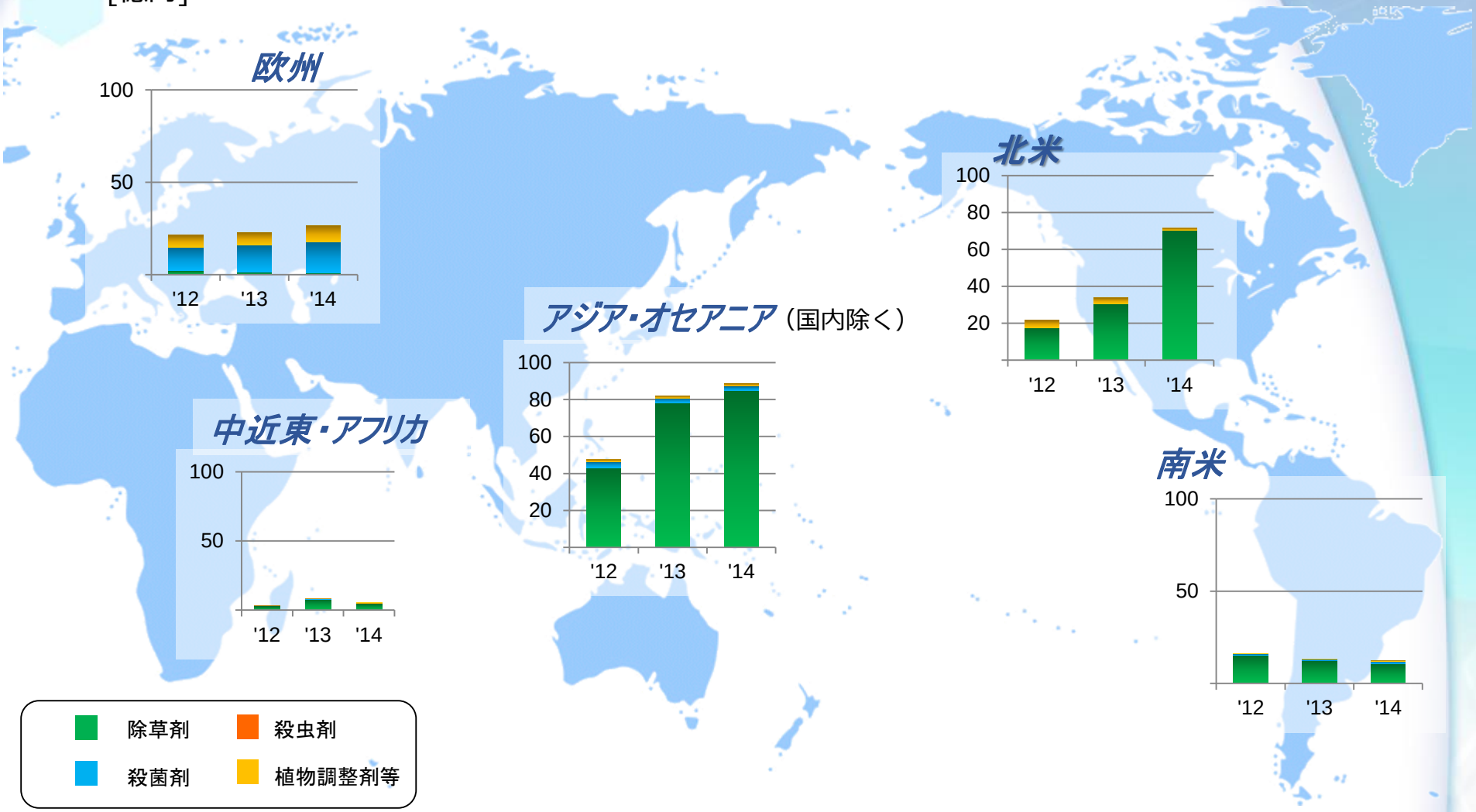
TJCケミカル（タイ）
イハラブラス（ブラジル）

試験場

MRS（ミシシッピ）
JAS（ニーム）

クミカ地域別・種類別売上高（2012～14年）

[億円]



クミカ海外売上の現状（2014年）

- 世界の農薬市場は順調に成長
  - とくに新興国（ブラジル・中国・インド）
- 海外地域別クミカの売上は北米・アジアで78％
  - 南米での比率が相対的に低い
- 海外種類別クミカの売上は、除草剤が84％
  - 世界の除草剤の市場比率は42％

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 業界でのポジショニング

Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
期末見込

Ⅳ. 中期的見通し

Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略

クミアイ化学工業株式会社

2015/10期第3四半期概況

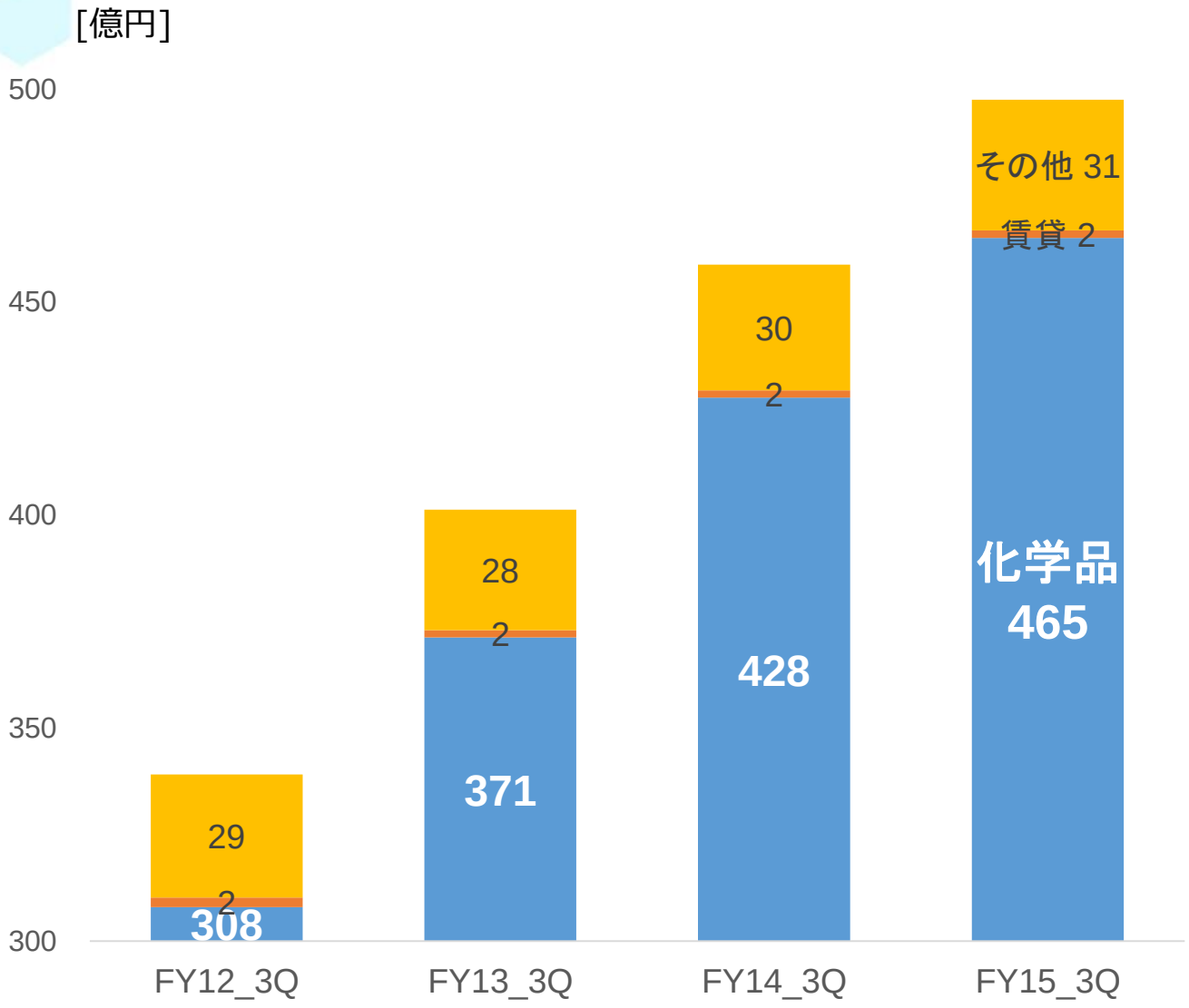
- 国内
  - 水稲除草剤の他社剤との厳しい競合
  - 水稲箱処理剤販売増加（イソチアニル剤等）
  - 園芸用殺虫剤販売増加
    （スプラサイド、サイアジピル剤等）

- 海外
  - 畑作用除草剤ピロキサスルホン剤の米国販売増加
  - 直播水稲用除草剤ノミニーのインド販売増加
  - ジェネリックとの競合

2015/10期第3四半期連結業績

	2014/10期 第3四半期		2015/10期 第3四半期		
	金額 (億円)	売上比 (%)	金額 (億円)	売上比 (%)	前同比 (%)
売上高	459	100.0	498	100.0	108.4
営業利益	32	7.0	38	7.6	118.4
経常利益	41	9.0	51	10.2	122.5
四半期純利益	27	5.9	36	7.3	133.8
一株当たり純利益（円）	34.1		45.4		
為替レート（¥/$）	102.0		119.7		
（¥/€）	139.9		135.9		

2015/10期第3四半期実績／事業別売上高（連結）



化学品

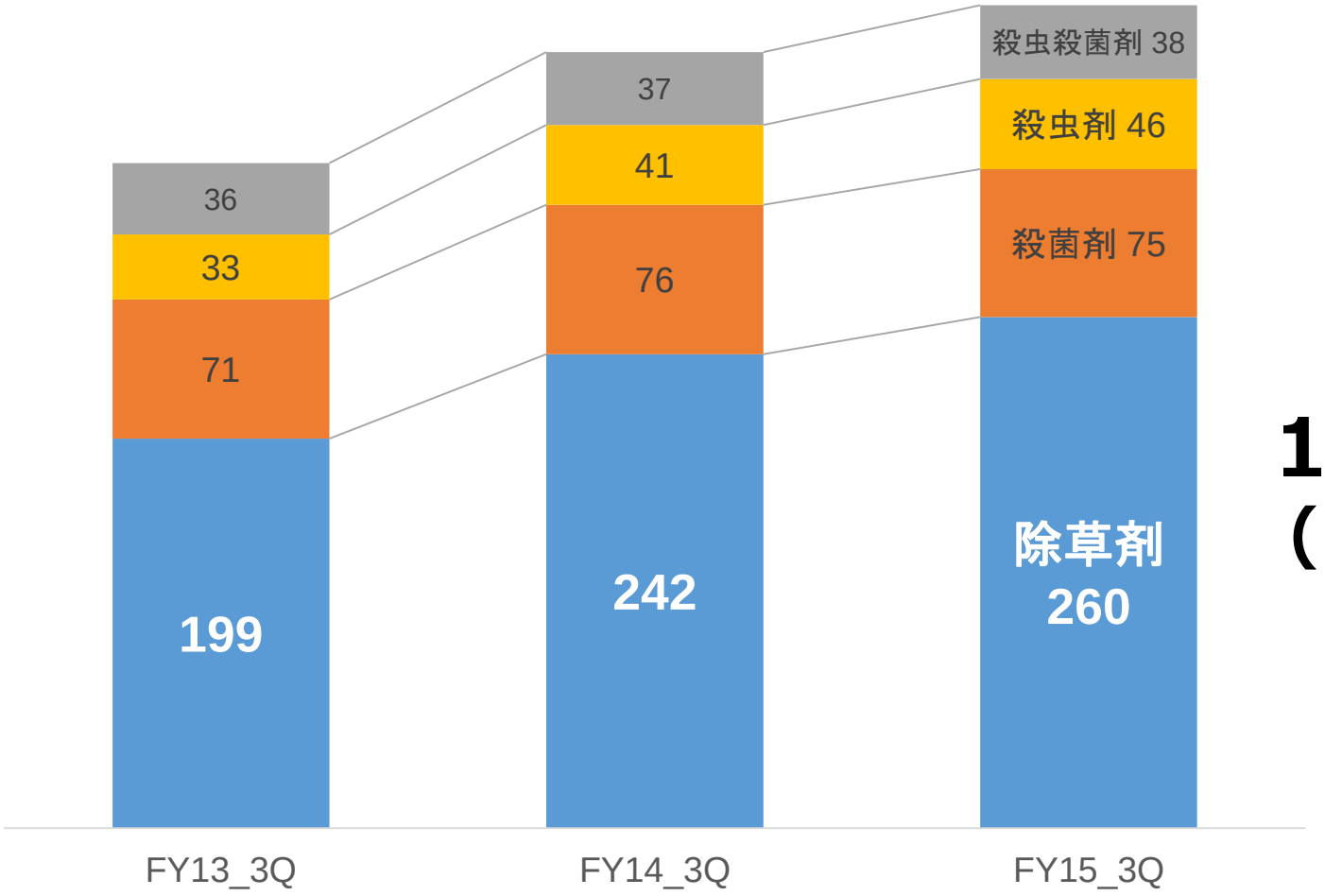
前期比

38億円増

（+8.8%）

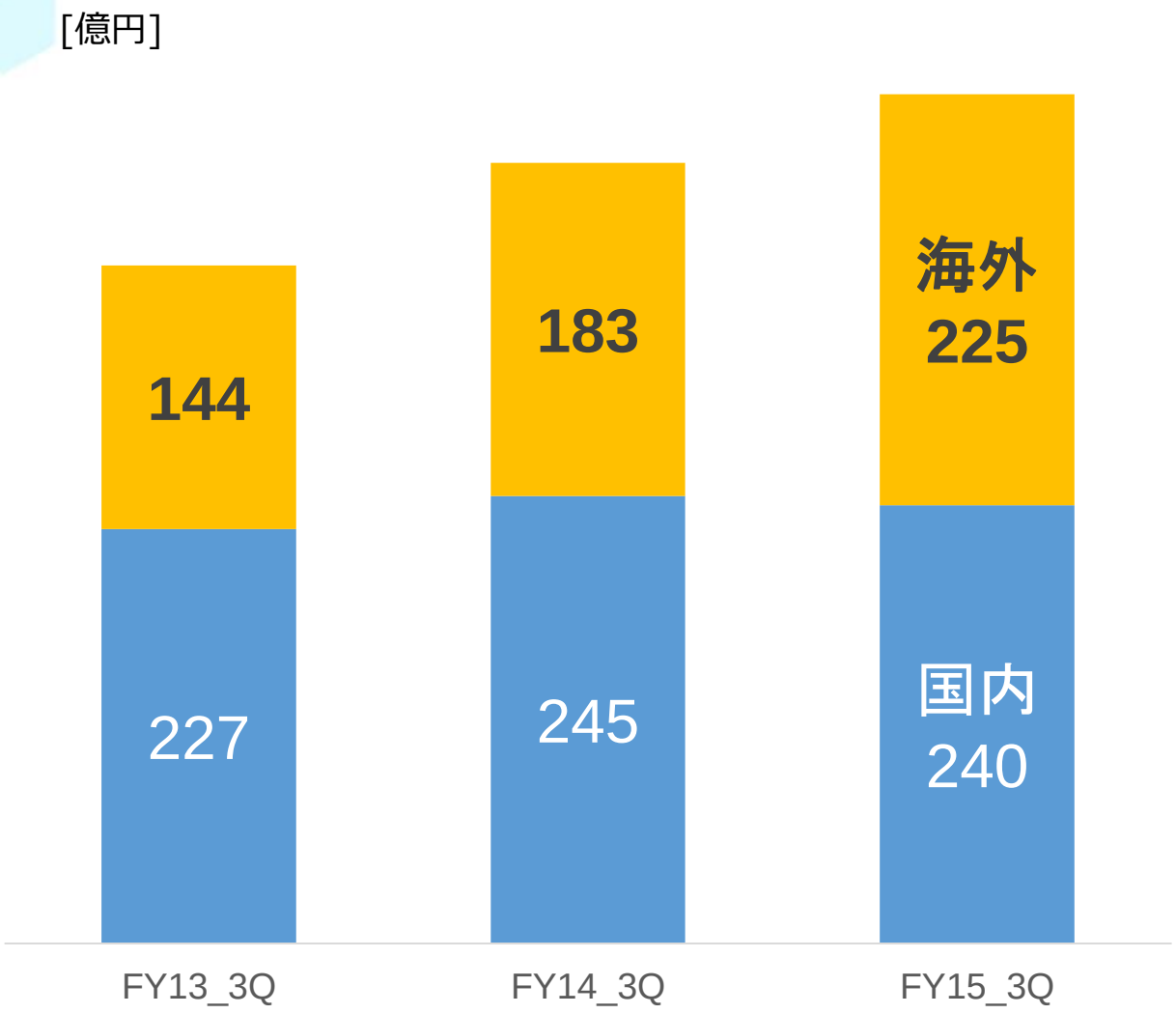
2015/10期第3四半期実績／分野別売上高（個別）

[億円]



除草剤
前期比
19億円増
（+7.8%）

2015/10期第3四半期実績／地域別売上高（連結）



海外売上比率

39→43→48%

海外売上高

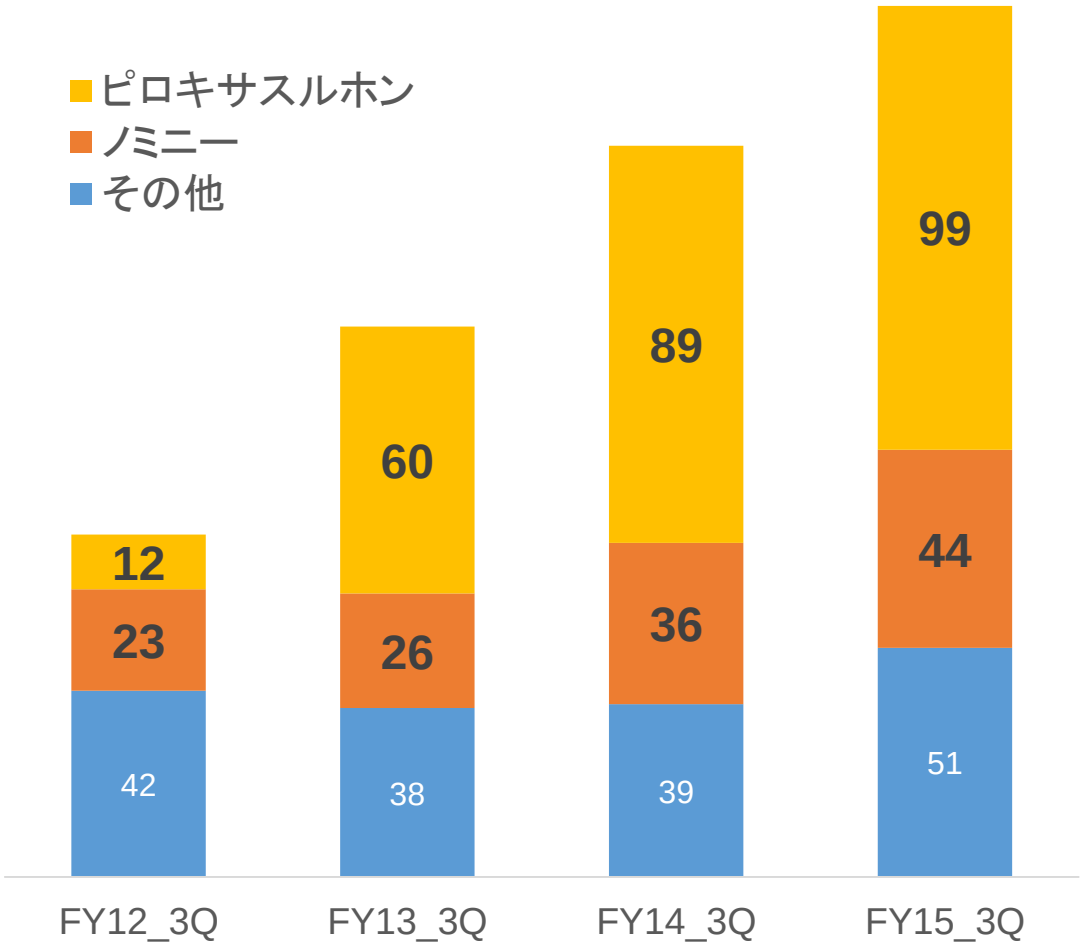
前期比

43億円増

（+23%）

海外原体別売上高（個別）

[億円]



ピロキサスルホン
ノミニーが
売上増に貢献

2015/10期連結業績予想

	2014/10期		2015/10期	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
売上高	554	112.3	610	110.2
営業利益	26	124.9	34	129.3
経常利益	43	127.3	49	114.2
当期純利益	31	128.0	34	111.4
為替レート(¥/$)	103.9		113	
(¥/€)	137.8		135	

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 業界でのポジショニング

Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
期末見込

Ⅳ. 中期的見通し

Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略

クミアイ化学工業株式会社

Grow up クミカ
2nd Stage (2013～2015)

2nd Stage スローガン

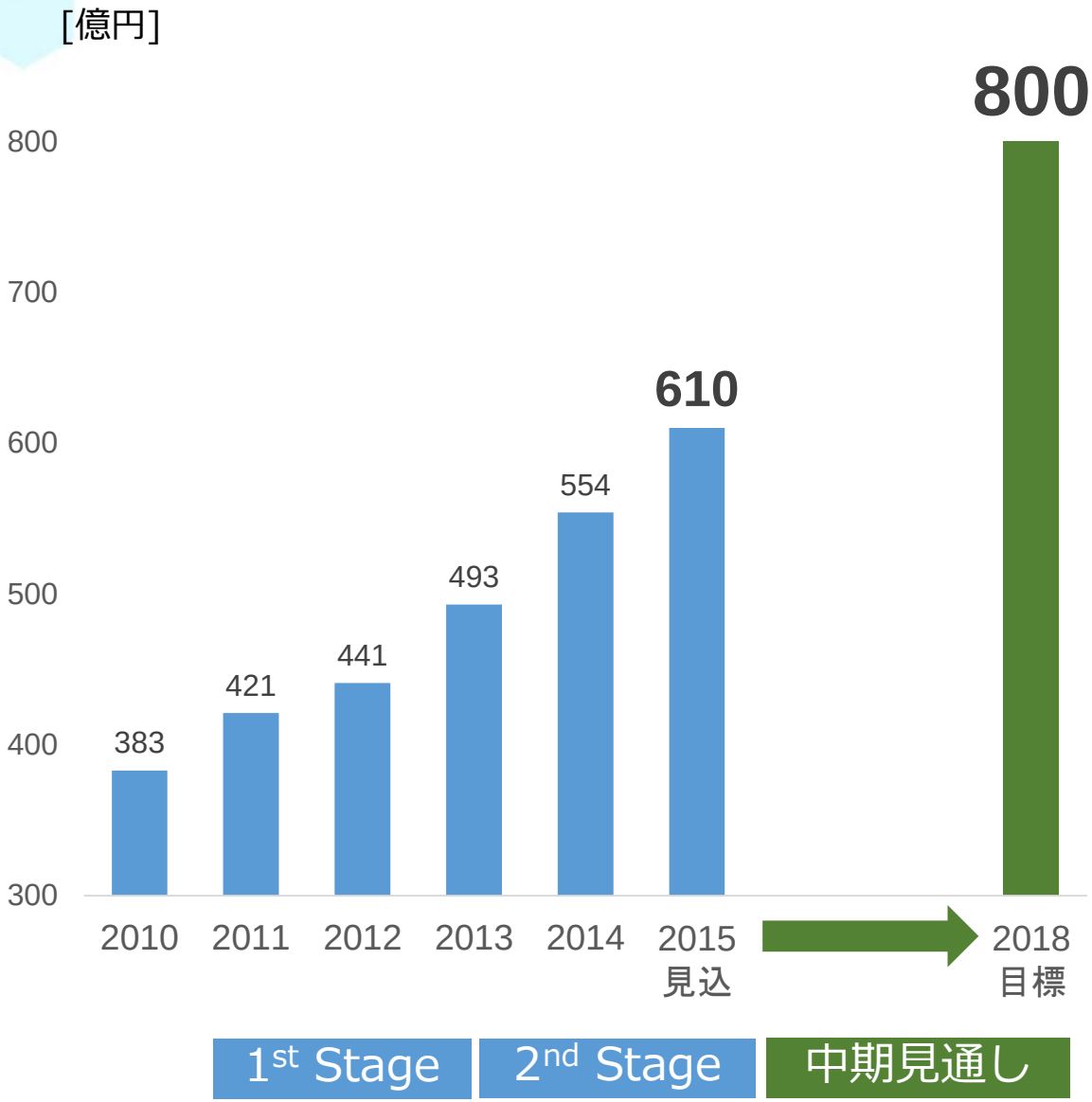
目標

- 業界トップを目指す
- 日本一幸せな会社にし
  社会に貢献する

重要方針

- 深耕・開拓による売上、利益の継続拡大
- 心・技・体三位一体の変革による筋肉質経営の推進
- 顧客のニーズ・ウォンツを満たす製品・技術の開発
- コーポレートガバナンスの充実

現中期経営計画と3年後の売上目標（連結）



2018年売上見通

800億円

2015年見込比

190億円増

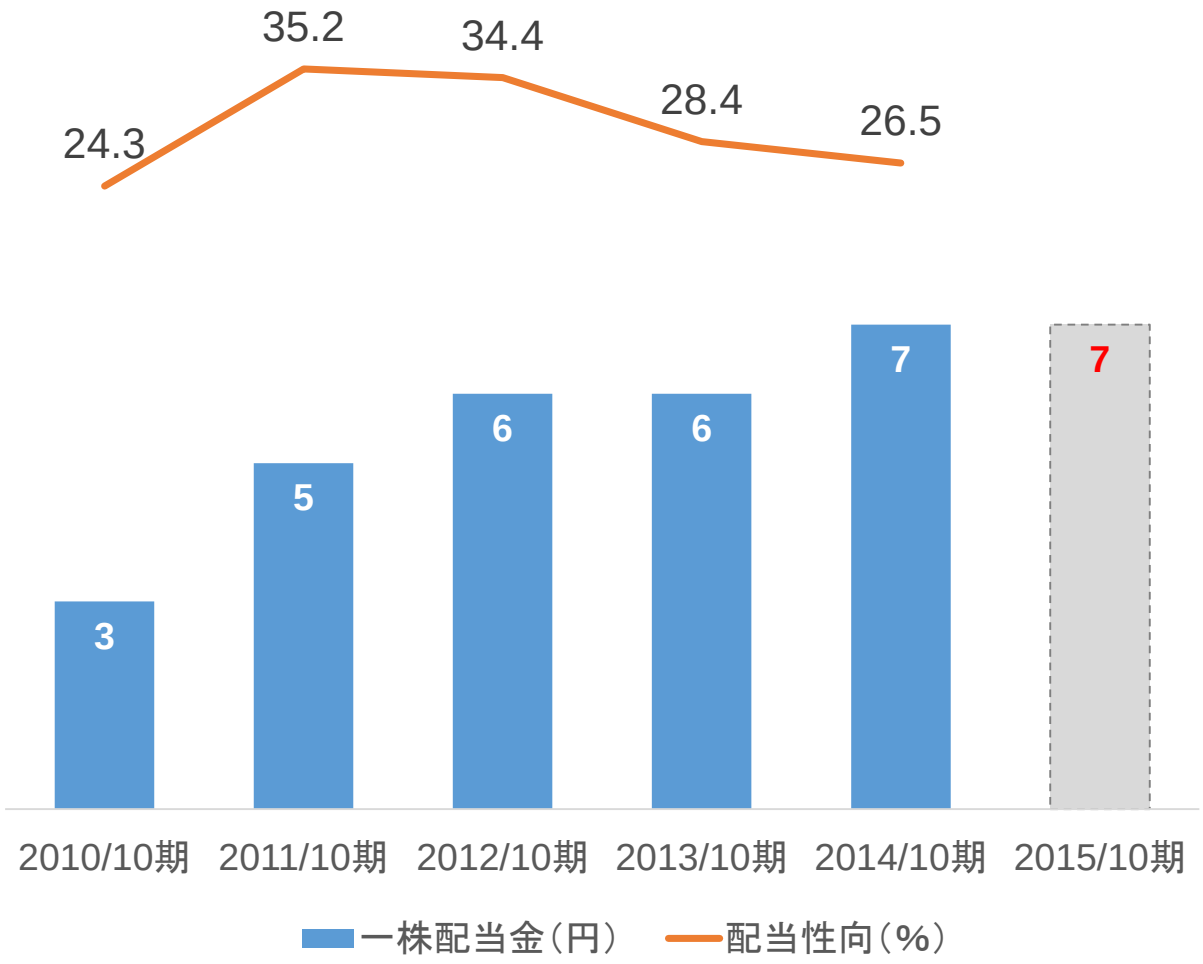
（+31%）

中期的目標と取り組み

	実績 2014/10期	中期見通し 2018/10期
売上高（億円）	554	800
営業利益（億円）	26	50
自己資本利益率（ROE）	6.6%	10%台

中期的取り組み	
当社の強み	継続的な原体開発力、地域密着型の営業（国内）
売上成長領域	ピロキサスルホン、フェノキサスルホンの売上増
利益率向上領域	自社開発剤の売上増

配当の推移


35.2
34.4
24.3
28.4
26.5
3
5
6
6
7
7
2010/10期
2011/10期
2012/10期
2013/10期
2014/10期
2015/10期
一株配当金（円）
配当性向（%）

Ⅰ. 会社概要

Ⅱ. 業界でのポジショニング

Ⅲ. 2015年度第3四半期実績
期末見込

Ⅳ. 中期的見通し

Ⅴ. 新規自社原体販売最大化戦略
－畑作用除草剤ピロキサスルホン－

クミアイ化学工業株式会社

ピロキサスルホンの特長

- 畑作用の土壌処理除草剤
  - ➢多くの畑作物に適用可能
    ムギ類、トウモロコシ、サトウキビ、ダイズ、ワタなど
  - ➢処理適期が広い
    播種前 秋処理から生育期まで
  - ➢低薬量
    既存剤の約10分の1の実用薬量
  - ➢抵抗性雑草を含む幅広い雑草種に有効
  - ➢長期残効性

ピロキサスルホンの除草剤特性

グリホサート抵抗性雑草(スーパー雑草)の
ヒユ科雑草(ケイトウの仲間)に卓効

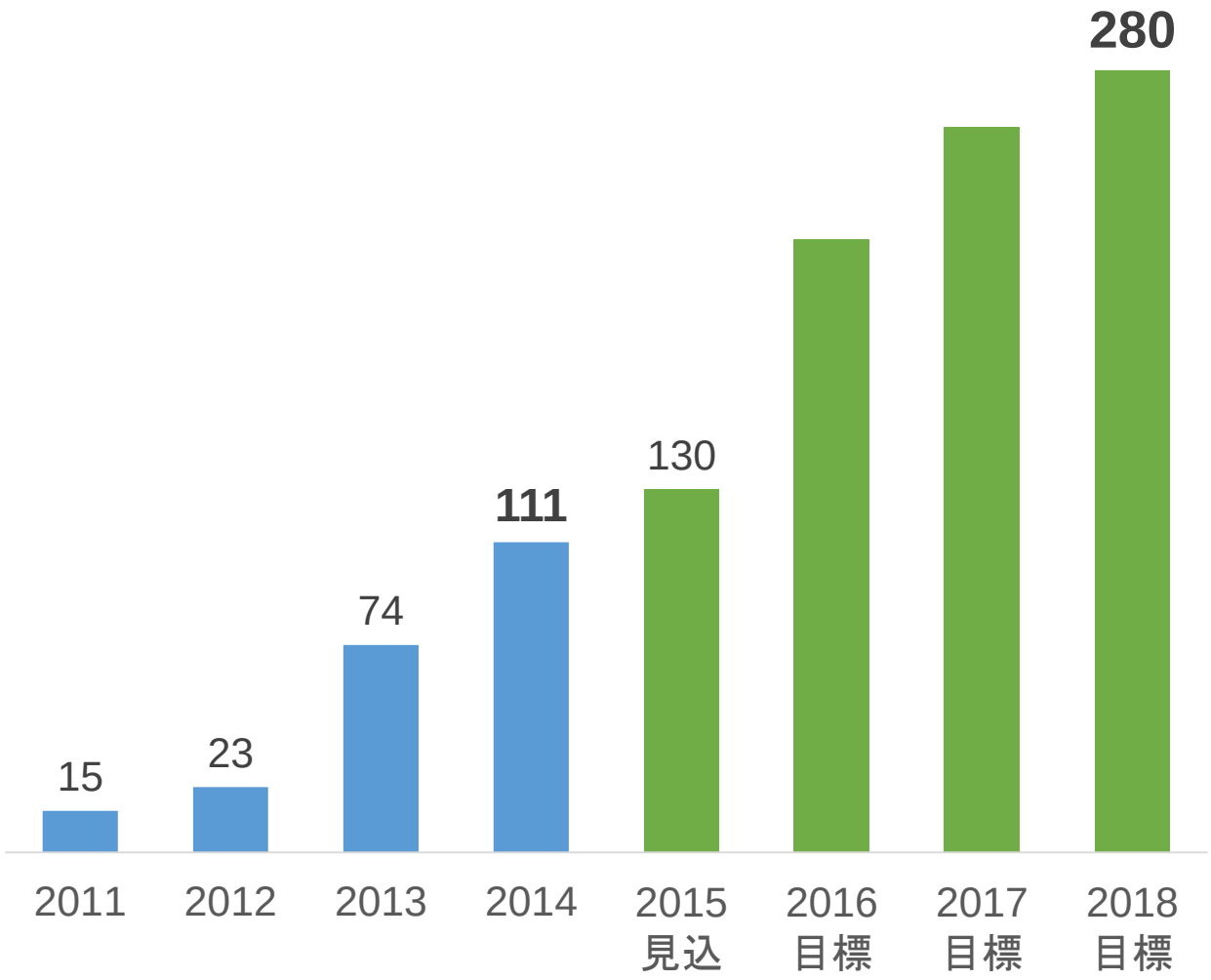
左：市販剤散布区、　右：ピロキサスルホン散布区（2011年米国）

ピロキサスルホンの除草剤特性

- 雑草の発生を長期に抑制(**長期残効性**)

無散布区	ピロキサスルホン散布区	市販剤散布区
播種後30日		
播種後45日		

ピロキサスルホン海外売上実績・目標



2018年売上目標

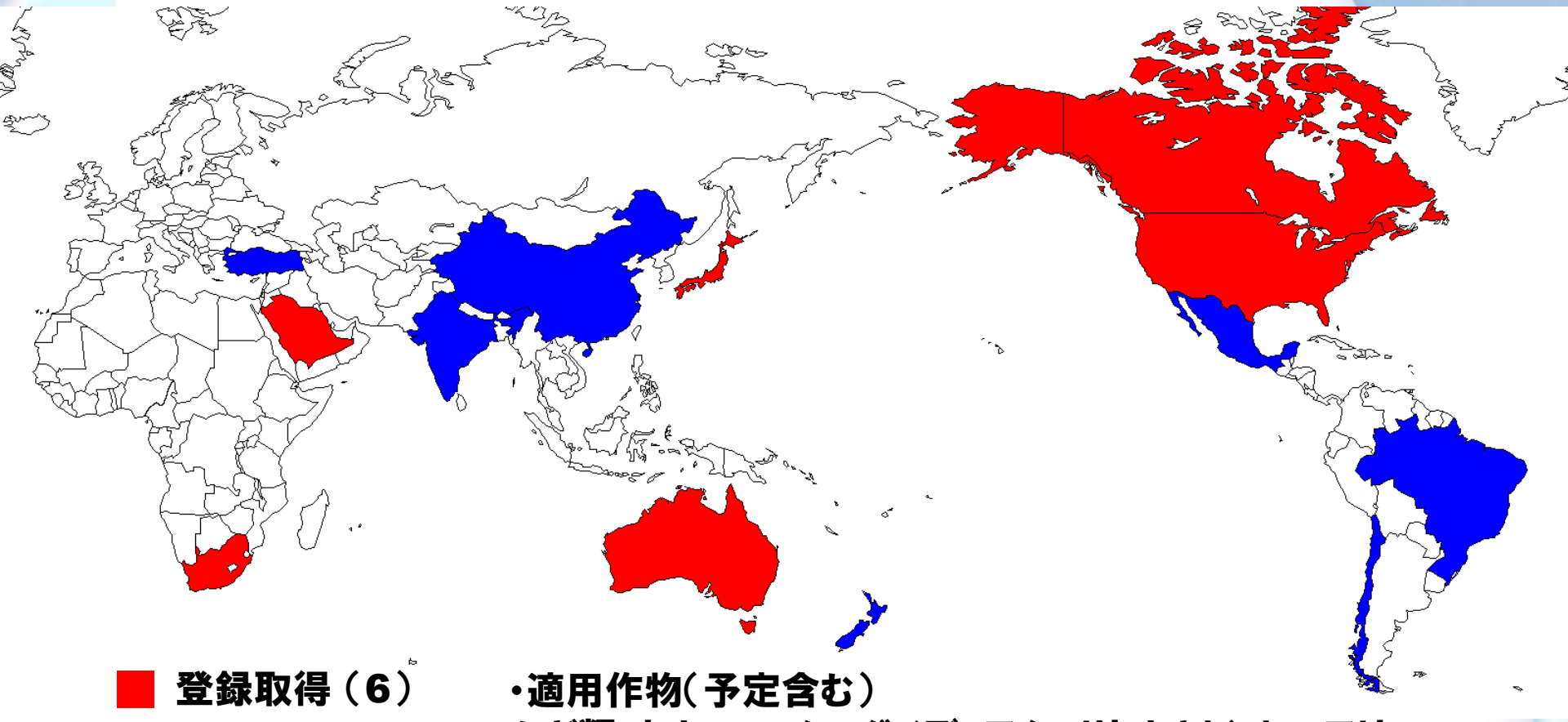
2014年実績比

170億円増

（+153%）

ピロキサスルホン開発状況（2014年時点）

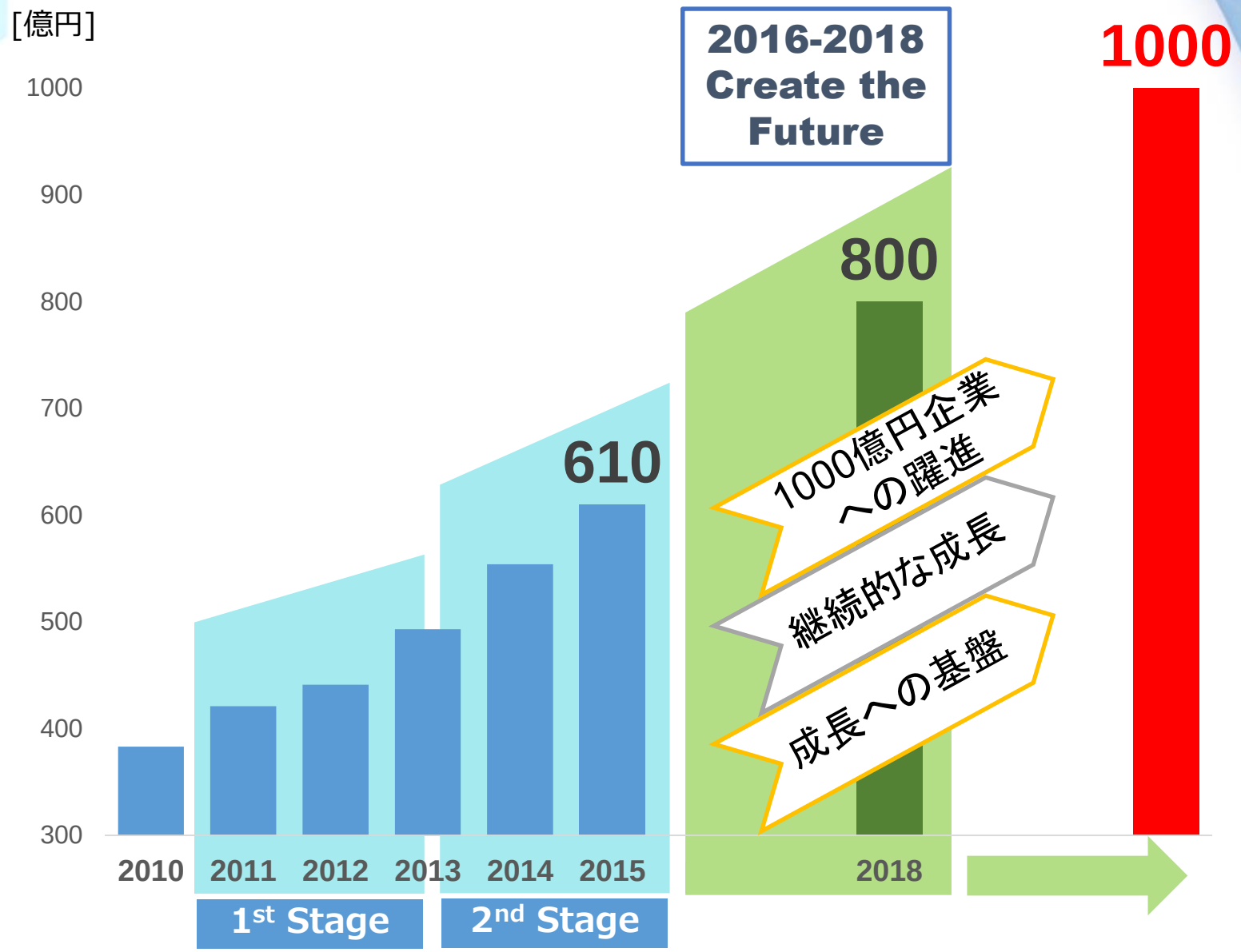
自然に学び 自然を守る
クミカ



■ 登録取得（6）
■ 開発中（7）

・適用作物（予定含む）
ムギ類、トウモロコシ、ダイズ、ワタ、サトウキビ、ヒマワリ、
バレイショ、タマネギ、ラッカセイ、アルファルファ等

Create the Future ― 未来を拓く ―



本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
総務部 総務課（IR担当）
TEL: 03-3822-5036
FAX: 03-3823-6830
E-Mail: soumu@kumiai-chem.co.jp

当社IRサイトもご覧ください　http://ir.kumiai-chem.co.jp/